

今までよいか再考すべきである。
・入会してからの教育が不足している。

第2班 報告者：三村昌之会員

鎌谷（責任者）、草桶、倉橋、蔭山

- ・会員増強も必要だが、休んでいる会員が参加しやすい環境づくり、夜間例会や移動例会を企画してほしい。
- ・ロータリーデーには、新聞やテレビなど盛んにPRしてほしい。



第3班 報告者：宮前貴司会員

奥村（責任者）、内藤、中西

- ・ロータリーデー（花筐公園での植樹）花筐公園には守る会があるので、今後の保守は安心できる。なぜ、花筐公園の植樹になったのか。趣旨である「地域を巻き込む」はどのようにするのか。花筐公園での植樹は継続事業にしては。
- ・会員増強について上半期は3名の入会を実現したが下半期も力を入れてほしい。
- ・夜間例会について初心表明では言及されていたが、実現できていない。花見などはどうか。会長の同級生のビートたけしさんに来てもらい卓話でもらうと嬉しいね。



第4班 報告者：白崎裕二会員

佐々木忠彦（責任者）、西藤、

竹内、玉村、田中茂、田中大成

- ・後半の行事として大きいのは台湾での姉妹クラブ締結、4月の奈良での地区大会。3月29日の花筐公園での植樹。これは地元を巻き込み三世代でやれるので是非成功させてほしい。
- ・新入会員が増えていかないと活動していくのも難しいと思う。会員増強を。



本日(2月24日)の例会

ゲスト卓話
越前市立図書館
館長 土井晶子氏

3月3日

第一例会行事
会員卓話
渡辺佳男会員

・家族を巻き込んでの楽しい行事が実施出来たら。

第5班 報告者：渡辺哲広会員

辻岡（責任者）、渡辺佳男、森上、矢尾、吉村、宇野賢治

- ・武生RCでは、過去に親子で日野川の自然観察会や地引網などの事業をしたことがあります。
- ・特別なことではなく、後半も当たり前のことを行って楽しむこと。



報告事項

幹事報告 井上常宏幹事

- ・2017~2018国際ロータリー第2650地区ガバナーに、京都東RCの田中誠二氏が決定しました

ニコニコ箱 …… 21,600 円 累計 1,038,008 円

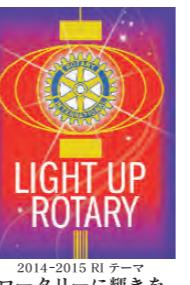
- ・炉辺会合の報告、みなさんよろしくお願いします。
【米岡房直】
- ・米岡会長のルーツ、駅弁を楽しむ例会を期待する。
【渡辺佳男】
- ・3月29日のロータリーデーの植樹・場所確認で、田中茂氏、佐々木忠彦氏と一緒に花筐公園の山へ登ってきました。
【竹内紀昭】
- ・今週、武生商業高校と武生東高校で、課外授業があります。講師の方々には大変お世話になります。
【佐々木忠彦】
- ・炉辺会合の発表を代理で行わせていただきます。
【奥村 忠】
- ・本日、炉辺会合の発表をさせて頂きます。
【渡辺哲広】
- ・誕生日自祝
【白崎裕二】
- ・昨日から確定申告がスタートしました。
会計事務所の繁忙期です。
【油谷正雄】
- ・炉辺会合の報告をさせて頂きます。
【安久弥兵衛】
- ・2/6 炉辺会合剰余金
【炉辺会合第三班】
- ・よろしくお願いします。
【西藤浩一】

例会変更情報／福井県内ビジター受付（2月25日～3月10日）

3月 6日 福井西RC 12:00～12:30 バードグリーンホテル
3月10日 福井フェニックスRC 18:00～18:30 ホテルフジタ福井1階
*変更の無い各クラブの定例例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650

2015.2.24 No. 2362



TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

創立/1954年（昭和29年）6月30日 例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
会長/米岡房直 幹事/井上常宏 会報委員長/三田村士郎



2014-2015 第2650地区テーマ
ロータリーは
心くばり
hsd

第2947回 例会記録 平成27年2月17日(火)

本日出席会員40名

会員総数
60名

メークアップ（前々回） 10名

出席率（前々回補正） 80.36%

ロータリーソング「それでこそロータリー」

会長挨拶 第61代会長 米岡房直

昨日もデンマークでテロ事件があり、また、日本も標的にされており心配です。



本日は、炉辺会合の報告ですが、発表者の方はよろしくお願いします。

「素敵な靴を履いているとその靴があなたを素敵な場所に導いてくれる」フランスに古くから伝わる言葉だそうですが、ご存知でしたでしょうか。靴の起源は人類の進化に沿って生まれ、鋭利な岩や灼熱の砂から足を保護するものとして発明されました。サンダルや下駄でなく、いわゆる最古の靴は紀元前3000年ほど前に現在のイラク南部に栄えたシェメール文明の遺跡から発見された陶器製の靴、祭礼・神事で神に奉げられるために作られたものと推測されています。すでに当時から外部環境から身を守るために足全体を包み込む現在の靴の形状とさほど変わりない履物が使用されていたのかもしれません。

そんな靴が時代を超えて、洋式靴として日本に入ってきたのは江戸末期から明治時代といわれています。国内で初めて靴が生産されたのは、江戸の幕末に始まった西洋式軍隊訓練がきっかけです。つまり、用途は軍靴でした。1870年、西村勝三氏が現在の築地あたりに靴工場「伊勢勝造靴場」を設けたのが今に繋がる靴生産の始まりなのです。

現在では、靴の種類や用途が様々で、矢野研究所調査によると、靴・履物小売市場は1兆円をゆうに超える規模になっています。紳士靴・婦人靴などは例年比較的安定しつつも変化の少ない規模状況ですが、

やはり健康に気を使う動きの活発化から、スポーツシューズ市場は数量ベースでも金額ベースでも徐々にプラス成長となっています。

さらに、ここ数年日常使いの靴で歩きやすい靴、長時間歩いても疲れない靴など、いわば履き心地の良い靴を求める動きが広がっています。百貨店や老舗靴専門店でも、足に関する基礎知識と靴合わせの技能を習得し、正しく合った靴を販売するシーフィッターという資格を持つ店員が増えています。靴は既製品を購入することが多く、個人で微妙な差異がある足に合わせてアドバイスしてくれる人が重宝されるのも納得です。

自然の大手を踏んでいた昔とは違い、今はコンクリートやアスファルトとともに堅い地面が主流で、歩くたび足は大きな衝撃を受けています。来月15日は、伊勢勝造靴場開業記念の「靴の日」とされています。皆様お持ちの靴はご自分に合ったものでしょうか。今一度足元を見直し、素敵な場所へと導いてくれる自分にとっての名靴に出会う良い機会かもしれません。

プログラム

第二回炉辺会合報告

テーマ「米岡丸の後半に向けて」

第1班 報告者：安久弥兵衛会員

藤谷（責任者）、石川、橋本実夫、藤井、橋本幸恵、石井、井上



- ・RCは、親睦が目的の会であるので、新入会員が早く溶け込んでいくようにする。品格を高める勉強会や例会は、出席に対する義務感を持って参加してほしい。
- ・事務的作業にならないで、メリハリやアクセントをつけて具体的な落とし込みがほしい。80%の出席率を努力してほしい。
- ・弁当は週ごとに変化をつけて、参加するのが楽しみになるようなメニューにしては。
- ・もう少し外に対する積極性や活力がほしい。
- ・武生東高校のインターアクションの方は、現状の